

# 松戸市の子ども・子育て支援について



平成30年11月1日時点



# 妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援

<b>妊娠期</b> 	<b>出産期</b> 	<b>未就学期</b> 	<b>就学期</b>
--	--	---	------------

保健福祉センター（3ヶ所） ・ 親子すこやかセンター（保健福祉センター内3ヶ所）

- ・ **保健師、助産師、社会福祉士による相談・支援**
- |   |  |   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○母子健康手帳の交付</li> <li>○親子すこやかプラン</li> <li>○妊婦健診、妊婦歯科健診</li> <li>○ママパパ学級</li> <li>○妊婦訪問</li> <li>○幼児教育パンフレット</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○産後ケア</li> <li>○乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問）</li> <li>○ブックスタート</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○赤ちゃん教室 ○離乳食教室 ○予防接種</li> <li>○乳児健診（3～4か月, 6～7か月, 9～10か月）</li> <li>○乳児股関節健診（3～4か月）</li> <li>○1歳6か月児健診、3歳児健診</li> <li>○わんぱく歯科クラブ ○保育施設等でのフッ化物洗口</li> <li>○養育支援訪問</li> </ul> |
|---|--|---|



<p>おやこDE広場・子育て支援センター（25ヶ所）          ・ <b>子育てコーディネーターによる相談</b></p> <p>一時預かり実施（うち4ヶ所）</p>	<p>児童館 こども館</p>
<p>保育所64ヶ所・認定こども園9ヶ所</p> <p>小規模保育施設61ヶ所 幼稚園37ヶ所</p> <p><b>利用支援コンシェルジュによる相談</b></p>	<p>小学校 45校</p> <p>放課後児童クラブ 放課後KIDSルーム</p>
<p>ファミリー・サポート・センター</p>	
<p>病児・病後児保育（4ヶ所）</p>	
<p>こどもショートステイ</p>	
<p>児童手当/児童扶養手当・子ども医療費助成/ひとり親家庭等医療費助成</p>	



子育て情報サイト「まつどDE子育て」・まつど子育てガイドブック  
 まつどDE子育てアプリ「母子モ」・まつどDE子育てLINE



# 妊娠・出産直後の支援

## ◎ 親子すこやかセンターの開設

市内3か所の保健福祉センターに併設した子育て世代包括支援センター。保健師、助産師、社会福祉士の専門職が常駐し、様々な知見から包括的に相談対応を実施。

## ◎ 産後ケア

お母さんと赤ちゃんへの心身ケアや育児サポート

- ・ 宿泊型：平成28年1月から開始。市内1か所。
- ・ 訪問型：平成28年10月から開始
- ・ 日帰り型：平成29年2月から開始



# 妊娠・出産直後の支援

## ◎ ブックスタート

乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問）時に  
保健師・助産師から絵本をプレゼント



## ◎ 乳児健診や予防接種の充実

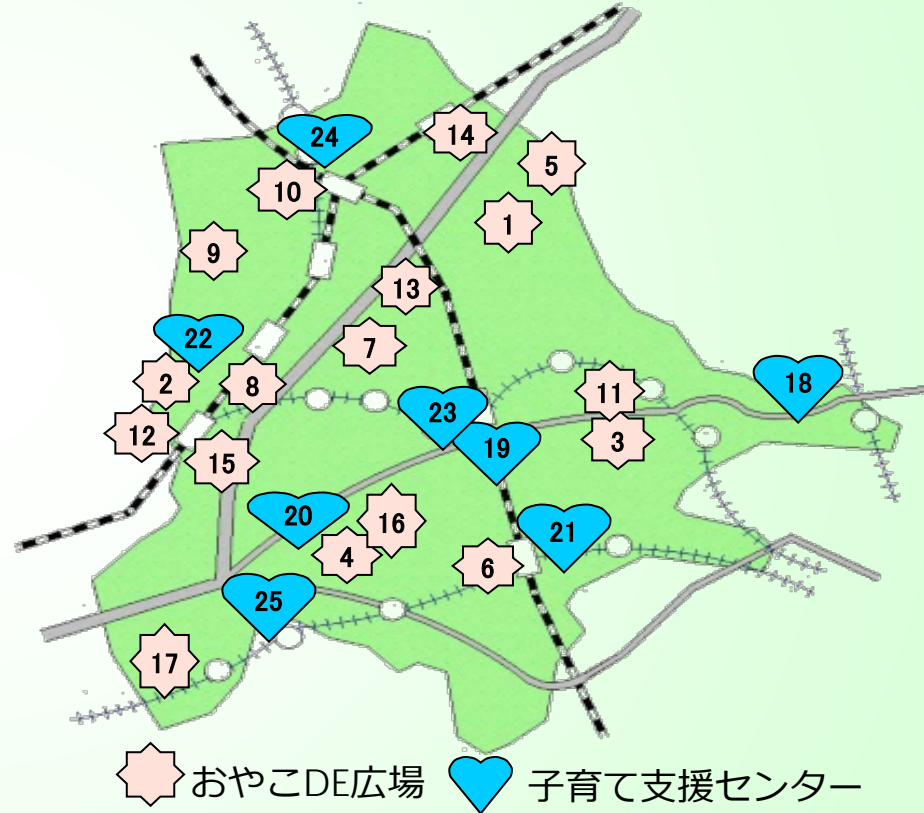
- ・ 生後3~4か月、6~7か月、9~10か月の乳児健康診査
- ・ 股関節異常の早期発見・治療を目的に乳児股関節健診の導入
- ・ 任意予防接種（ロタウイルス、B型肝炎、おたふくかぜ）の費用一部助成

# 乳幼児向け遊び場

## ◎ 乳幼児向け遊び場 市内に25か所 (おやこDE広場・子育て支援センター)

### 【特徴】

- おおむね3歳までの子どもとその保護者が対象  
(子育て支援センターは就学前)
- 無料、週4日以上開設
- 講座・イベント等が数多く開催されている
- 親同士が交流できる
- 相談できる
- 一時預かり実施 (4ヶ所)

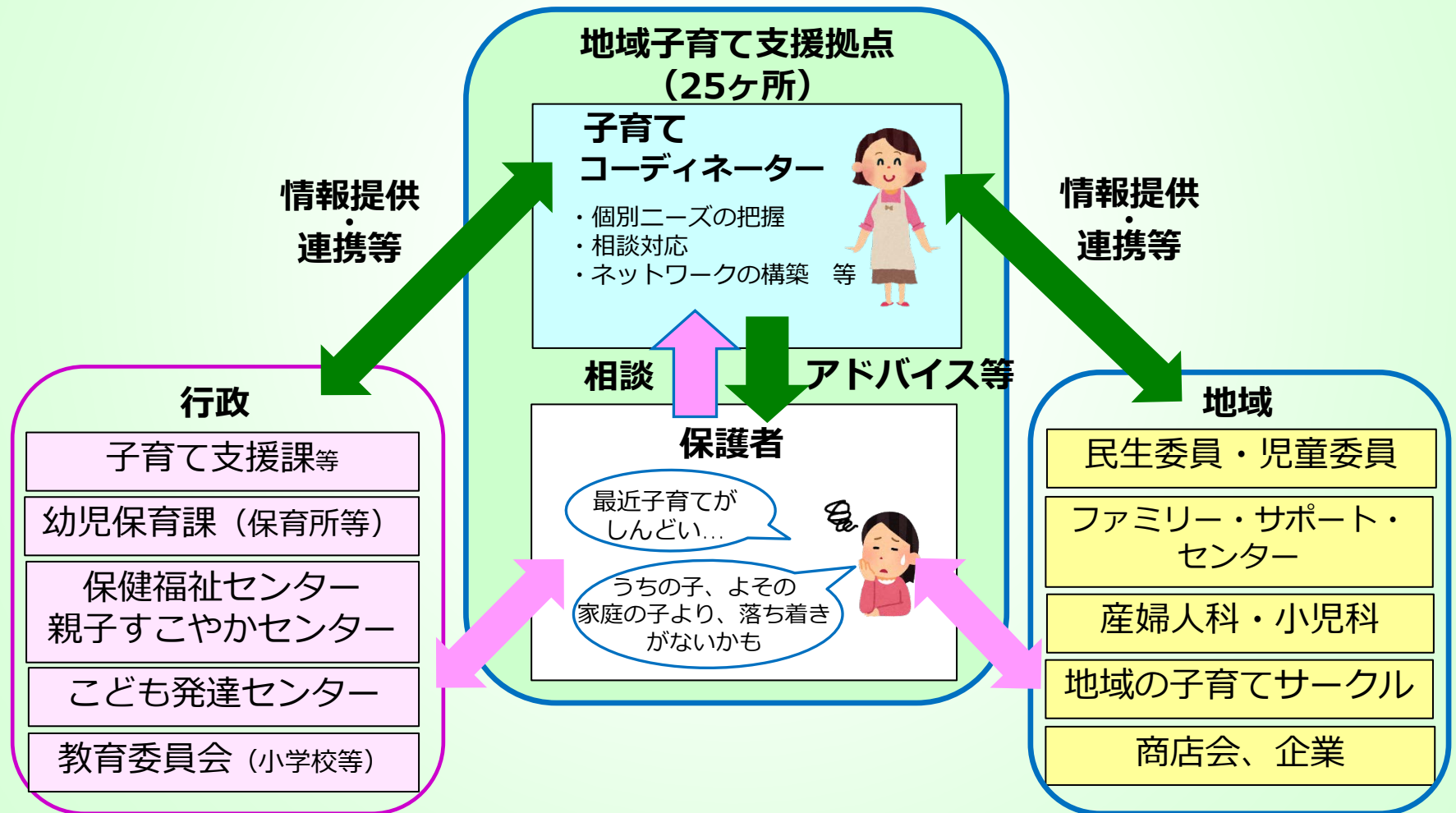


### 【実績】

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
利用者 (人)	196,232	213,873	223,032	230,646	237,723
相談件 (件)	5,252	6,019	7,017	7,613	7,670

# 乳幼児向け遊び場

## ◎ 乳幼児向け遊び場（全25ヶ所）に 市が認定した子育てコーディネーターを配置





# おやこが集う広場

## ◎ 子育て支援員研修

### 子育て支援員研修・松戸市子育て人材バンク

子育て支援関連の施設への就労を希望する市民に対し、市が委託した市内大学で研修を実施。研修修了者には修了証が交付され「人材バンク」「ファミリー・サポート・センター」に登録。子育て支援事業者は名簿から必要に応じて採用。

子育て支援員



おやこDE広場  
子育て支援センター  
(地域子育て支援拠点)



放課後児童クラブ

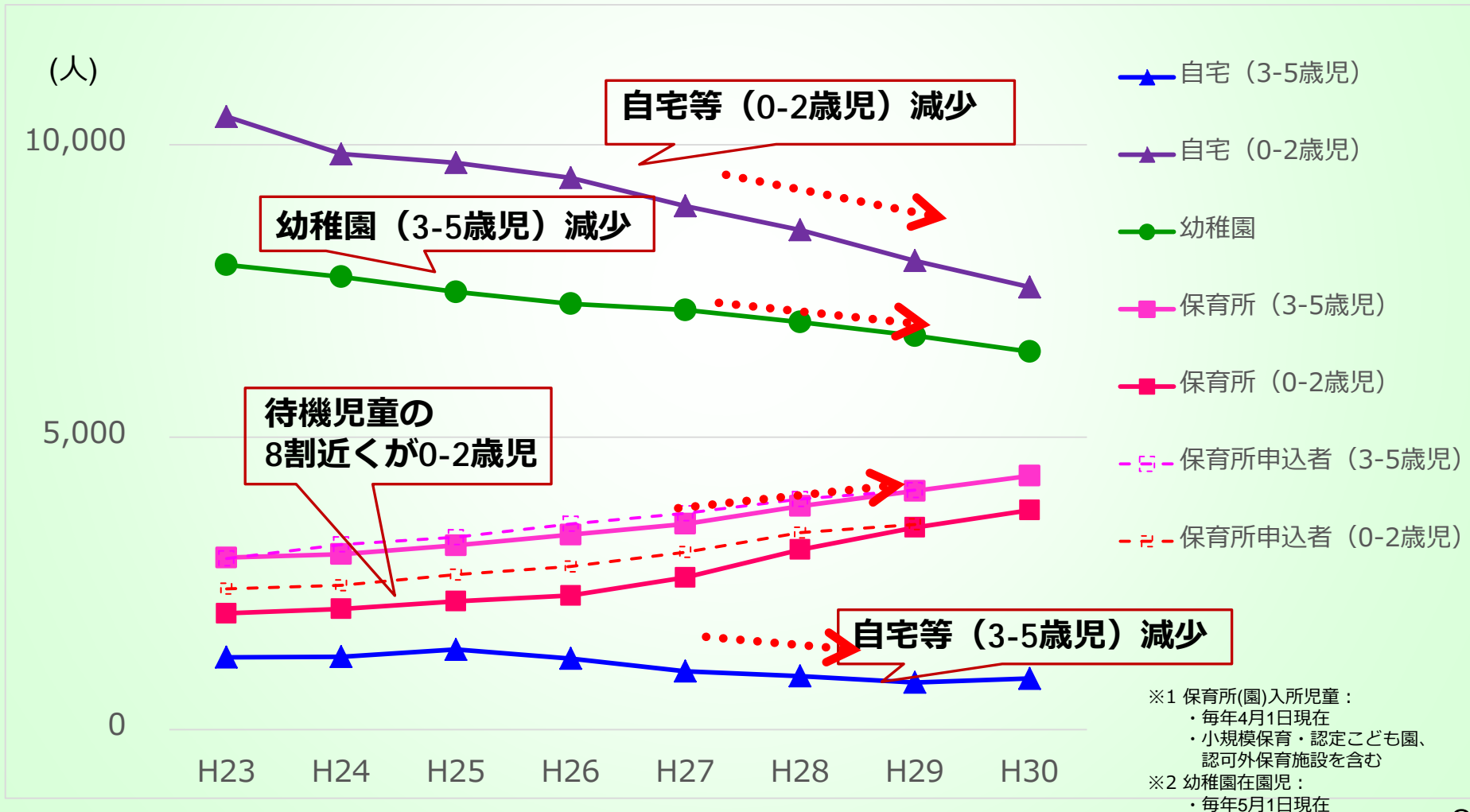


小規模保育事業



# 保育環境の整備

## ◎ 保育所(園)の入所児童数は増加傾向







# 保育環境の整備

◎ 3年連続 『待機児童ゼロ（国基準）』 を達成（平成30年4月時点）

小規模から  
幼稚園へ

0～2歳児  
小規模保育施設の整備

- ・ 市内全23駅への小規模保育施設の設置
- ・ 認可保育園の整備（認定こども園を含む）

利用支援コンシエールジュ  
（利用者支援事業特定型）の活用

3～5歳児  
既存資源の活用

- ・ 幼稚園預かり保育事業の拡充
- ・ 送迎保育ステーションの実施



# 保育環境の整備

## ◎ 市内全23駅の駅前・駅ナカに 小規模保育施設を設置

- ・ H29年6月 市内全23駅の駅前・駅ナカへの整備完了  
(人口40万人以上の自治体で全国初)
- ・ H30年4月 小規模保育施設 62施設 (千葉県内 1位)  
※ H30年11月1日時点61施設
- ・ H28年4月:31か所485人  
⇒H29年4月:44か所695人(210人増)  
⇒H30年4月:62か所978人(283人増)
- ・ 小規模保育施設の全てに連携園を確保



# 保育環境の整備

## ◎ 松戸駅送迎保育ステーション（平成28年4月～）

- ・ 保育需要の地域偏在に対応するため、園児たちをバスで送迎。
- ・ H29年度は送迎保育ステーションの日中の空き時間を活用し、一時預かりを実施（保育士資格取得、幼稚園の平日休園日の対応）

## ◎ 新松戸駅送迎保育ステーション（平成30年4月～）

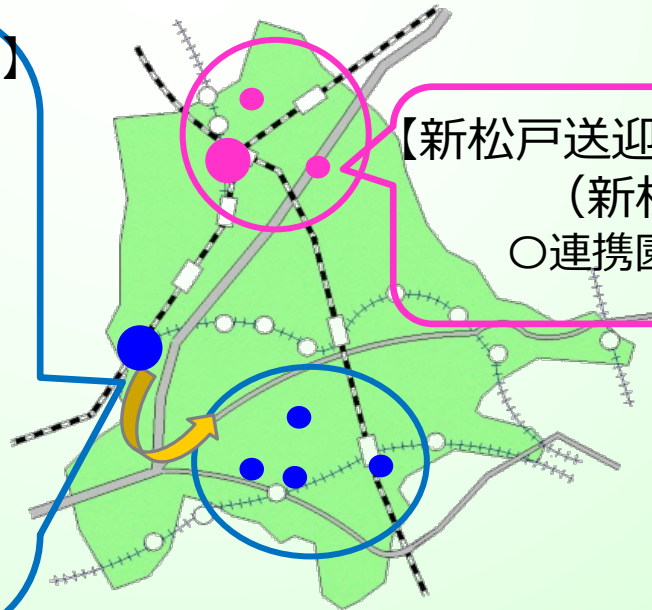
- ・ 就労している保護者でも幼稚園を利用できるようにするため、幼稚園バスの送迎前後で、園児をお預かりする。

【松戸駅送迎保育ステーション】  
（松戸駅西口近く）

○送迎先：秋山・東松戸周辺の  
認可保育所・幼稚園（5園）



【新松戸送迎保育ステーション】  
（新松戸駅近く）  
○連携園（幼稚園2園）

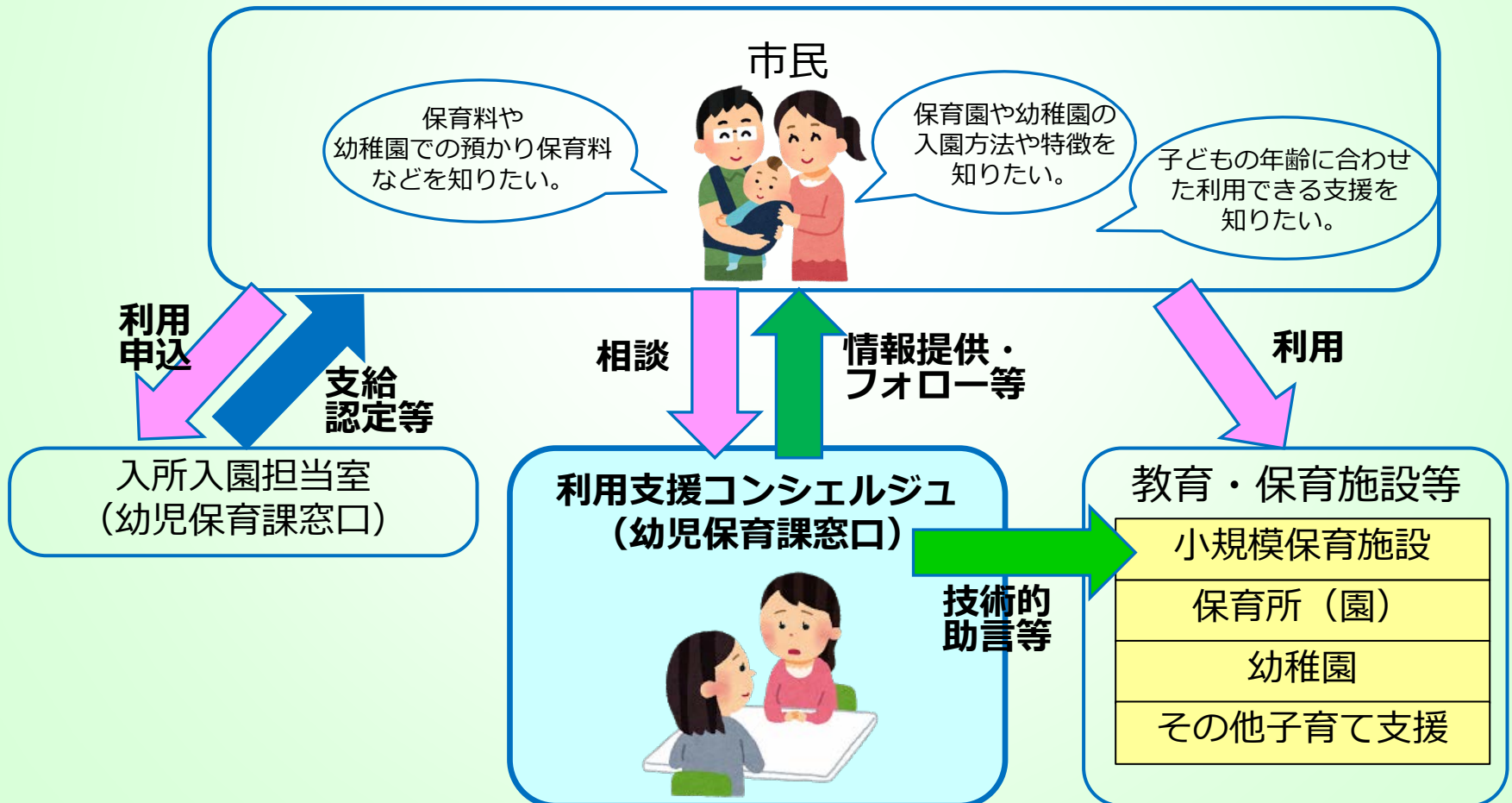




# 保育環境の整備

## ◎ 利用支援コンシェルジュ（平成28年4月～）

- ・市役所幼児保育課の窓口にご利用支援コンシェルジュを4名（利用者支援事業・特定型）配置。





# 保育環境の整備

## ◎ 保育士の確保に向けた市独自の取組み

【H28年度】

- ・ 保育士宿舎借り上げ、保育施設従事者支援補助金、保育士資格取得支援業務、保育士就職支援貸付金などを実施。

【H29年度】

- ・ 松戸手当の支給
- ・ 新卒保育士への家賃補助
- ・ 保育士支援メニューについて、チラシや市公式ホームページにて積極的にPR（市内聖徳大学など）
- ・ 保育士資格取得支援として、送迎保育ステーションの空き時間を活用した一時預かり事業を実施し、市内保育施設への就職活動を支援

【H30年度】

- ・ 保育士養成修学資金貸付金



# 教育・保育の充実

## ◎ 幼稚園就園奨励費の拡充

- ・ 園児1人当たりの助成額を拡大 (27,000円→30,000円)

## ◎ 幼稚園預かり保育の拡充と預かり保育料の助成制度

- ・ 幼稚園の預かり保育実施施設数 13園
- ・ 保護者へは、幼稚園の預かり保育を利用しても、保育園保育料とほぼ同じ負担額になるように助成 (最大10,000円→25,000円)

# 教育・保育の充実

## ◎ 幼稚園教諭免許の取得支援

市内幼稚園に働きながら教諭免許を取得した方に  
免許取得のために学習に要した費用の一部を助成。

- ・ 幼稚園免許取得後に、市内幼稚園で勤務することが決定した後、1年以上継続して勤務する意向がある方
- ・ 最大 **250,000円** 支給

## ◎ 幼稚園教諭確保のためのチラシの作成

幼稚園教諭の確保を支援するため、資格取得支援、  
保育所入所の優先度UP、永年勤続表彰などの支援メニュー  
を整理してPR。





# 保育環境の整備

## ◎ 保育の安全・保育の質の確保

### ① 重大事故の防止

- ・ 利用支援コンシェルジュによる巡回相談
- ・ 認可外施設含む市内全施設を訪問し、午睡の対応方法等をチェック

### ② 松戸市版「保育所保育 質のガイドライン」を策定

- ・ H29年10月に完成

### ③ 発達障害児の受け入れなど要支援者対応

- ・ 虐待やネグレクトなど見守りが必要な児童、発達に課題を持つ児童、医療的ケアの必要な児童など支援が必要な児童の増大
  - ・ 支援が必要な児童の数（公立）26年140人、27年195人、28年198人
  - ・ 見守り家庭の数（公立）26年92人、27年132人、28年124人
- ・ H29年度：
  - ・ 保育補助者雇上強化事業補助金（民間保育園）
  - ・ 臨床発達心理士の派遣（公立保育所）



# 幼児教育の充実

## ◎ 松戸市版幼児教育パンフレットの作成

脳科学者 川島隆太教授が  
監修したパンフレットを配布。  
普及のための紹介動画も制作  
し、現在、松戸市ホームページ  
などで配信中。



## ◎ 幼稚園教育への積極的支援

- ・多くの研究で幼児教育の重要性がクローズアップ
- ・私立幼稚園は、幼児教育の中核的役割を果たしている幼稚園との連携を強化し、幼児教育の充実を図る  
例) 幼稚園・保育所・小学校の連携、合同研修会の開催等

# 幼児教育の充実

## ◎ 5歳児からの英語あそび（平成28年9月～）

- ・市立保育所全17ヶ所の5歳児を対象に、月1回、ネイティブ講師による英語あそび（歌・ゲーム等）を実施
- ・外国語活動を実施する私立幼稚園や民間保育園等には、補助金を交付し、外国語活動の振興を図る



カード遊びの様子



手遊びの様子

# 🍊「まつど英語」の充実

## ◎ 5歳児から中3まで10年間の「まつど英語」

### 中学校

—英語を使う、  
会話する—

### 小学校高学年

—国に先駆け 4技能・5領域を学習—

### 小学校低学年

—楽しみながらどんどん話す—

### 幼稚園・保育所

—先生との交流を楽しむ—  
幼稚園が外国語活動を行った  
場合、松戸市から補助を実施



- 小学校6年生と中学校3年生において実施している英語実態調査で、松戸市は小中学校ともに全国平均を上回っている。
- 特に中学校においては、全校が全国平均を上回っている。



# 病気になったときの支援

## ◎ 病児・病後児保育室が市内に4か所

病気や病気の回復期のお子様を一時的に預かれる  
(松戸地区、馬橋地区、新松戸地区、東松戸地区)  
東松戸地区は、平成30年10月にひがしまつど小児科内にオープン

## ◎ 24時間安心の小児医療体制

夜間小児急病センター



毎日夜23時まで小児科医が診察  
薬も処方される

市立総合医療センター開院 (平成29年12月)



「地域周産期母子医療センター」、  
「小児医療センター」を設置。



# 小学校入学後も安心

## ◎ 放課後児童クラブ

市内全45小学校区で夜7時まで開設。  
平成29年度から利用料金月額9,000円へ変更。



## ◎ 放課後 K I D S ルーム

放課後に小学校の図書室等を開放し、自由に学習や読書ができる居場所を市内20小学校で実施。  
今後、施設数の拡大や学習支援プログラムの拡充も検討。

## ◎ ファミリー・サポート・センター

地域の中で、育児の援助を行いたい人(提供会員)と育児の援助を受けたい人(利用会員)で、相互に育児の援助活動を行う。

生後4ヶ月～小学校6年生までが対象。

放課後児童クラブからの送迎などを実施。



# 全ての子どもを応援

## ◎ 「子どもの未来応援担当室」の設置

- ・子育て世帯の保護者と子どもの生活実態調査を実施。
- ・平成30年3月に「松戸市子どもの未来応援プラン（松戸市子どもの貧困対策計画）」を策定。
- ・平成30年度から3年間で集中的に貧困対策を実施

## ◎ 「子ども家庭総合支援拠点」の設置

- ・平成29年4月に全国に先駆け、専門職を配置した支援拠点を整備。児童虐待の予防、早期発見・早期支援につなげる。
- ・「松戸市児童虐待防止ネットワーク」の体制を強化し、関係機関との連携を強化する





# 青少年の健全育成・自立支援

## ◎ 子ども会支援

市内の子ども会活動の振興を支援する。  
子ども会連絡協議会の行事・活動を支援。  
H30年度単位子ども会数：107

## ◎ 青少年相談員

青少年健全育成活動に携わるボランティアを市と県から委嘱。  
青少年相談員連絡協議会の行事・活動を支援。  
19期（H28～H30）：200名委嘱

## ◎ 少年センター

- ・少年補導活動に携わるボランティアを平成30年度は135名を市から委嘱。見守りや不審者対応を合わせて、防犯活動を行っている。少年センター主導の補導では時間帯を5区分に分け、各区分月1～2回ずつ行い、補導員による地区補導は、12地区が年間9回以上行っている。街頭補導活動と共に、各種非行防止啓発活動等を行う。
- ・少年センター運営協議会を年3回開催。
- ・家庭教育相談員による青少年やその家族等の悩みの相談（来所及び電話相談）



# 青少年の健全育成・自立支援

## ◎ 中高生と赤ちゃんのふれあい体験学習

### 【概要】

中高生が赤ちゃんとふれあいながら、父母から子育ての話を聞くことで、命の大切さや愛おしさ、育児の大変さを体感する。子育ての予備体験となり、将来的な虐待防止や子育て力の向上につなげる。ふれあい体験と共に講師を招き、命の尊さや性について講義を行う。

### 【今年度（H30年度）】

市内中学校 4 校・市内高校 6 校にて実施予定（H29年度より3校増加）

## ◎ ゲットユアドリーム

### 【概要】

地域の大人たちは多種多様な職業や経歴を持っており、これまでの経験や人生のターニングポイント、仕事の大切さを講義してもらおう。中学生が実際に見て、学んで、感じたことをワークショップ形式でまとめ、自分たちの将来について考える場を提供する。

参加した生徒からは、「これまでより将来について考えることができた」との声が多かった。

### 【今年度（H30年度）】

市内中学校 4 校にて実施（H29年度より 2 校増加）





# 青少年の健全育成・自立支援

## ◎ こども夢フォーラム表彰

### 【概要】

子どもたち、一人ひとりの夢の応援を目的として、スポーツや文化芸術活動などで幅広く活躍した子どもたちを表彰の対象とする。特徴としては、子どもたちの個性や多様な可能性を認めて、応援していくことにある。

### 【実績（H29年度）】

テコンドーや空手、BMX、そろばん、将棋など約300名の小中学生の表彰を実施。

## ◎ こどもモニター

### 【概要】

行政に対する意見及び要望の提言、その他建設的意見の発表等、松戸市子ども夢フォーラムにて行政に対する要望を提言することを目標に施設見学会や会議、こども新聞の発行等を行います。

市内小中学校 34名委嘱



# 子どもの居場所づくり

## ◎ 児童福祉館・こども館

常盤平児童福祉館

・火曜から日曜 9:30~17:00 (5月~8月は17:30分まで)

・移動児童館

(H30年度よりおやこDE広場、乳幼児一時預かり、子育てコーディネーター配置)

野菊野こども館・根木内こども館

・週6日 (おやこDE広場併設、子育てコーディネーター配置)

森のこども館

・毎月第1土曜日 10:00~16:00

## ◎ 中高生の居場所

松戸市子どもの未来応援プランに基づき公共施設を活用した中高生の居場所

・松戸市文化ホール 土・日10:00~17:30

・青少年会館 金曜17:00~20:30 (中学生は20:00まで)

常盤平児童福祉館 TAPS 水・土 17:00~19:00

野菊野中高生タイム (塾・食堂) 水・土 17:00~19:00

# 🍊 子育ての情報発信・PR

## ◎ 子育て情報サイト「まつどDE子育て」

子育て情報サイトをリニューアルし  
子育て支援情報、施設、イベント情  
報をわかりやすく市民に配信。



## ◎ まつどDE子育てアプリの導入 (平成29年12月~)

予防接種のスケジュール管理、母子健康手帳の記録、  
子育て支援情報やイベント情報の提供などをサポート。

アプリダウンロード  
(Google Play用)



アプリダウンロード  
(App Store用)



## ◎ まつどDE子育てLINEの導入 (平成30年9月~)

小児科医などの複数の専門家が監修した子育ての  
知識や寄り添いメッセージなどをLINEで配信。





# 🍊 子育ての情報発信・PR

## ◎ 子育てPR動画「Family Support No. 1」

(平成28年10月~)

子育て支援の内容をギュッと詰め込んだ子育て支援PR動画。  
市長自ら出演し、子育て支援の魅力をPR。



## ◎ 子育てPR動画「世界一の感謝状」 (平成30年1月~)

松戸市が子育て支援を進めるうえで大事にしている「家族の笑顔が、子どもにとって一番の心の栄養である」という思いを込めた、松戸市在住の家族による感動のサプライズ動画。





# 子育て世代を応援

## ◎ 三世代近居・同居の推進

松戸市内で親との同居や近居を考えていて、新しく家やマンションなどを購入する際の費用の一部を補助

対象：出産予定～中学生以下のお子さんがある世帯

最大 **100万円** 支給

同居 75万円

または

近居 50万円



市外から松戸市  
へ転入  
25万円



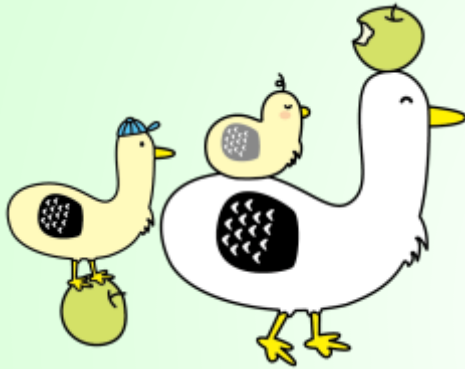




# 共働き子育てしやすい街

## ランキング

～全国編（東京を除く）～

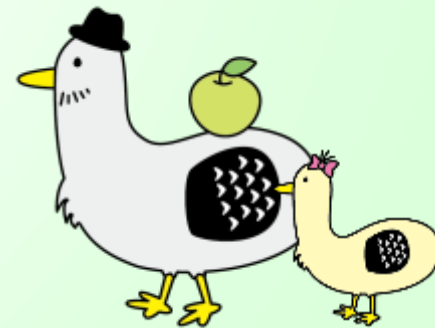


全国編 **1**位

2017年

全国編 **5**位  
2016年

全国編 **9**位  
2015年



# 共働き子育てしやすい街ランキング

松戸市が全国編 1 位



## 評価につながる松戸市の子育て支援

- ① 保育施設の大幅新設：  
3年連続待機児童ゼロ、市内全23か所の駅前・駅ナカへ小規模保育施設を設置
- ② 保育士確保：松戸市独自の給料の上乗せ（松戸手当）を実施
- ③ 幼稚園の積極的な活用：預かり保育の充実及び預かり保育料助成の実施
- ④ 放課後児童クラブの充実：市内全45小学校区に放課後児童クラブを整備
- ⑤ 病児・病後児保育の充実：病児・病後児保育が3か所
- ⑥ 妊娠・出産・育児までの切れ目ない支援：  
産後ケア（宿泊型・訪問型・日帰り型）、乳児家庭全戸訪問時に親子へ絵本をプレゼント（ブックスタート）、乳幼児健診の充実、任意予防接種費用助成等
- ⑦ 幼児教育の充実：全公立保育所（17か所）の5歳児への「楽しい英語あそび」